Creative Enzymes®

ネイティブヒトクレアチンキナーゼ総量

Cat. No. NATE-0961

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	クレアチンキナーゼは、エネルギー要求が断続的に高く□動する細胞のエネルギー代謝において重要な役割を果たします。このような細胞の例には、心筋や骨格筋の細胞、脳や網膜の神□組織が含まれます。この酵素は、ATPを生成するために、リン酸クレアチンからADPへのリン酸基の可逆的な移動を触媒します。このタンパク質の分子量は約80 kDaであることがわかっています。これは、各々の分子量が40 kDa ± 2000の2つのサブユニットで構成されています。□いサブユニットは、より多くの量が存在します。
用途	診断コントロール、キャリブレーターおよび標準；免疫測定；臨床化学；テスト/アッセイバリデーション；ライフサイエンス；ELISA；ブロッティング；心臓マーカー；製造
別名	EC 2.7.3.2; ATP:クレアチンホスホトランスフェラーゼ; CK; CPK; MM-CK; MB-CK; BB-CK; クレアチンホスホキナーゼ; クレアチンホスホトランスフェラーゼ; ホスホクレアチンキナーゼ; アデノシン三リン酸-クレアチン転移リン酸化酵素; Mi-CK; CK-BB; CK-MM; CK-MB; CKMiMi; MiMi-CK; 9001-15-4

製品情報

種	人間
由来	人間の心臓/脳
形態	凍結乾燥された
EC番号	EC 2.7.3.2
CAS登□番号	9001-15-4
活性	> 5 U/mg
混入物	LDH: < 1.0% AST/GOT: < 1.0%
緩衝液	トリス緩衝生理食塩水、1% BSA、1 mM DTT および 1 mM EDTA
単位定義	1ユニットは、37°Cでクレアチンリン酸からADPへの1マイクロモルのリン酸のトランスリン酸化を1分あたり触媒します。結合反□によって生成される1等モルのNADHとして340 nmで測定されます。

保管・発送情報

保存方法	-20°Cで保管してください
安定性	3年